

第 22 回 平取ダム地域文化保全対策検討会

議 事 要 旨

日 時：令和 4 年 3 月 2 5 日（金）午後 1 時 3 0 分開会
場 所：平取町中央公民館 1 階 大ホール

北海道開発局室蘭開発建設部

沙流川ダム建設事業所

第 22 回平取ダム地域文化保全対策検討会 議事要旨

日 時：令和 4 年 3 月 2 5 日（金）午後 1 時 3 0 分開会

場 所：平取町中央公民館 1 階 大ホール

出席者：遠藤 桂一 平取町長
萱野 志朗 平取アイヌ協会副会長
川奈野 栄子 平取アイヌ協会副会長
木村 英彦 平取アイヌ協会会長
木村 二三夫 平取アイヌ協会副会長
高山 修 平取町議会総務文教常任委員会委員長
千葉 良則 平取町議会議長
常本 照樹 北海道大学名誉教授
山崎 幸治 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授

(五十音／敬称略)

- 次 第：1. 開会
2. 挨拶
3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について
4. 審議 地域文化に係る調査・検討について
5. 報告事項 地域文化調査の成果概要について
6. 閉会

資 料：会議次第

資料- 1 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）

資料- 2 地域文化に係る調査・検討について

資料- 3 地域文化調査の成果概要

1. 開会

事務局：定刻となりましたので、ただいまから「第2回平取ダム地域文化保全対策検討会」を開催いたします。

議事に入ります前に、会場の皆様をお願い申し上げます。傍聴、取材につきましては、議事進行の妨げにならないよう静粛にさせていただきますとともに、携帯電話につきましては、電源をお切りになるか、マナーモードに設定していただくよう、お願い致します。また、円滑な運営を図るため、フラッシュ、照明等を用いた撮影は冒頭の挨拶までとさせていただきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。また、本会議の資料及び議事要旨は室蘭開発建設部のホームページに掲載しますので、ご承知おきのほどよろしくお願いいたします。なお、本検討会の記録のため、事務局で録音、撮影を行いますことをご了承願います。

次に資料の確認をさせていただきます。まず、議事次第。続きまして、資料1、「平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）」資料2、「地域文化に係る調査・検討について」資料3、「アイヌ文化環境保全対策事業」となります。

本検討会につきましては、平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領第6条の2項に記載がありますとおり、委員の2分の1以上の出席した場合に成立することとなっており、委員の出席が過半数以上となっておりますので、成立とさせていただきます。

2. 挨拶

事務局：それでは、議事に先立ちまして、沙流川ダム建設事業所長よりご挨拶いたします。

所長：沙流川ダム建設事業所で所長をしております〇〇と申します。開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。委員の皆様方におかれましては年度末の大変お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。当事業所で建設を進めております平取ダムでございますが、昨年11月24日にダムに水を貯める試験湛水をはじめまして、2月13日に最高水位に到達し、その後試験湛水は先日終了したところです。現在は水を貯める前の状態、昔の額平川の状態になっているところでございます。雪解け後には現地を確認し、問題がなければダムの機能を発揮できるように運用していきたいと考えているところでございます。

さて、ダム事業に伴うアイヌ文化保全につきましては、平成25年度に中間とりまとめを行い、それに沿って保全対策に向け、調査検討を行ってきたところでございます。今回の検討会では、試験湛水の影響の確認を残しておりますが、今年度の取り組みの様子につきまして報告させていただきたいと思っておりますのでございます。

この検討会でのご意見、議論を踏まえまして、引き続きアイヌ文化の保全対策にしっかり

取り組んでいきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願い致します。以上、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

3. 平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）について【資料-1】

事務局：それでは議題の一つ目ですが、「3.平取ダム地域文化保全対策検討会設置要領（案）」について入らせていただきます。お手元の資料 1 をご覧ください。今年度の変更点を説明させていただきます。この中で「第 3 条 検討会の構成」について、別表 1 の太字になっているところが変更になっているところです。

また、委員の委嘱期間は令和 4 年 3 月 31 日までとしております。今ご説明させていただきました検討会設置要領（案）について、ご質問やご意見がございましたらお願いいたします。

（「なし」と発言する者あり）

事務局：特段ないようでございますので、本日より（案）を取りまして設置要領といたします。

事務局：また、昨年開催いたしました第 21 回検討会の議事録につきましては、室蘭開発建設部のホームページに掲載しておりますことをご報告いたします。

事務局：続きまして、座長の選出に移らせていただきます。検討会の座長は、検討会設置要領の第 4 条の第 2 項で委員の互選と定められております。つきましては、委員の皆様へ座長のご推薦または自薦をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。

委員：イランカラプテ。座長の選出ということですが、今回も〇〇委員にお願いしたいと思いますが如何でしょうか。

事務局：ただいま〇〇委員をご推薦いただきましたが、他にご推薦または自薦はございますでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

事務局：それでは、〇〇委員に座長をお願いするという事によろしいでしょうか。

（「意義なし」と発言する者あり）

事務局：委員の皆様のご賛同を頂きましたので、〇〇委員に座長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

座長：イランカラプテ。座長に推薦いただきました〇〇でございます。円滑な議事運営に努めたいと思いますので、ご協力よろしくお願い致します。

4. 審議：地域文化に係る調査。検討について【資料-2】

座長：それでは、本日のスケジュールでございますけれども、最初にこれまでの地域文化に係る調査・検討について審議を行いまして、その次に報告事項として地域文化調査の報告がございます。それでは、「4.審議」として地域文化に係る調査・検討について事務局より説明をお願いいたします。

*事務局より資料-2「地域文化に係る調査・検討」について説明

座長：ありがとうございました。資料2の「地域文化に係る調査・検討」について説明をしていただきましたけれど、この内容について委員の皆様からご質問、ご意見等ございましたら御受けしたいと思います。いかがでしょうか。

委員：今ご報告がございましたように、今回の進められている調査・検討については、大変豊富な成果が得られているということは明らかなかわけでございます。しかもその実施体制としてアイヌ民族と国と自治体の3者が手を結んで行っているということは、他に例を見ない事業ではないかと思えます。これはこれだけの成果について、今後どのように活用していくかということが重要であります。それについては最終頁にございますけれど、今後、調査・モニタリングについてのご提案がございました。その中で、広く活用を促していくということも大変重要であることは間違いないわけですが、豊富なデータを持ったデータベース等々が存在していること自体が必ずしも広く知られるに至っていないのかもしれない。勿論、それらのデータは北海道大学と合同でシンポジウム等を開催し、この調査・検討に携わっておられる平取町の皆さんを通じて関係方面では知られるようになっておりますけれど、さらに進んで一般市民にもこういう豊かなアイヌ文化に係る調査が存在しており、その活用を一層図る必要があるということを知らせることが望ましいのではないかと考えます。そういった意味で、今後、調査の成果、調査の存在そのものについても一般市民へ広報していただくと、より一層活用されるのではないかと感じているところです。

座長：ありがとうございました。今のことについて事務局からありますでしょうか。

事務局：私共としましてもダムに影響する部分として額平川を中心にデータベースを構築してきたところでございますけれども、それを広く皆さまに活用していただくことも考えつつ、平取町で進められております各種アイヌ施策の関係とも有機的に連携していくことで、さらに平取町でお持ちになっている部分とも連携することが望ましいと思っています。そういった方向で考えていきたいと思っております。

委員：もう一件追加でよろしいでしょうか。その関連で申しますと、現在私共の関わっているウポポイ等もこういった成果の発表の場、あるいは活用の場として連携していくことがありうるかなというところがありますけれども、そういった意味では実施主体の1つである国土交通省とは組織的に共通しているところではございますし、地域との連携というのも大変大きな使命でございます。そういったウポポイの部分も含めて何らかの協力ができないのかなと感じているところではございます。

座長：平取町としても、先程、〇〇委員のおっしゃったとおり本当に貴重なデータ蓄積で、大きな成果だと評価しております、これを活かさない手はないという部分もあります。他に町としても進めているような振興事業とも連携させていただいて、更に進化するようなものになるように町としてもぜひ協力したいと思っておりますし、ウポポイの話も出ましたけれども象徴空間そのものが平取町のような地域も連携して文化振興を図っていくのが基本だと思いますので、なかなかコロナの関係で出来なかったところもありますが、今後、積極的にウポポイとの連携、白老町との連携等も考慮していきたいと思っております。よろしくをお願いします。

5. 報告事項：地域文化調査の成果概要について【資料-3】

座長：次に5.の「報告事項」についてアイヌ文化保全対策室より説明をお願いします。

*対策室より資料-3「地域文化調査の成果概要」について説明

座長：ありがとうございました。内容について委員の方々から質問があればお願いします。

委員：P17のピパについて聞きたい。他流域でピパのいるところで調査していただいているようだが、この状態を見て、沙流川流域にこの環境に似たような場所があるのかどうかを聞かせていただきたい。

対策室：以前も生息環境調査という形でピパの生息しているような川の調査を行いました。調査した結果、ニセウ川が一番似ている環境だなという印象を持ちました。今回の〇〇川の調査を終えて、来年度、あらためて生息できそうな環境があるのかも一度調査を実施していきたいと思っています。

委員：サクラマスのエラに稚貝がついてということだが、結局、サクラマスにしてもサケにしてもそこで生まれてその川に帰ってくる、ということはその川にもピパがなければ稚貝がつかない。仮に環境が似ているならば、そこに、ピパがいるところからいくらか持ってくるか、もしくは水槽に入れて置いておいて、サクラマスの稚魚をその中で一緒に飼って、それを放流するとかそこらへんも考えていかないとダメかなと思うがどうでしょう。

対策室：その通りだと思ひまして、その前段階として、ピパの飼育に挑戦してみたいと思っています。飼育に挑戦して、その段階を踏んで、最終的にはそういった形に持っていければいいかなと考えています。

対策室：課題として、現在、全ての川を調査したわけではないですが、ある程度調査した結果、ピパの生息は見当たらなかったという状況の中で、例えば〇〇川から持ってくるのは法的には問題は無いが、それによっていまの河川的环境が変わってしまうとか、そういった懸念があります。そういう二次的な問題が課題ではないかと考えられます。

委員：ピパはもともといたものだから。どうしていなくなったのかは、ちょっとわからない。予想でしかないけれども、結局、農薬だとかそういうものではないかと思っている。今は、昔ほど農薬が使われている状況ではないので、状況的には戻ってくるのではないかと思う。二風谷にピパウシ沢というのがあって、そこにピパがいたという話があり、二風谷にはそれで貝澤という名前が生まれたという話がある。他にも穂ちぎりとかそういうものにアイヌ文化として使っていた経緯があるので、ぜひともこれについて、いまの21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画でやっているシマフクロウと同じくらい大切なモノとして対策を考えてほしい。

座長：他に質問はございませんでしょうか。では、私から。非常に印象に残ったダムカレーですけど、これは商品化される可能性はありますか。

対策室：対策室では、飲食店に、まず平取ダム、二風谷ダムはどういうダムであるかという説明をさせていただいて、実際にそれをカレーとして販売するかどうかは、商品ベースでやっていただくのは飲食店に任せるしかないかなと思っています。コストの関係ですとか手

間の関係とかがありますので、ダムを知ってもらったうえで、作ってもらいたいという我々の思いはありますので、それを説明させていただいたところでございます。

対策室：昨年から計画しておりまして、器も去年のうちに案を形にしてもらって、内容は鹿肉とか地産の和牛とか豚とかがメインになればいいなと試行錯誤で作りました。ご飯もイナキビとかアイヌ料理を使ったものにしてもらうとか飲食店に説明しましたが、コストや手間がかかるということでした。ただ、飲食店によっては、面白そうなので少し考えてみようという反応でした。

座長：容器とかアレンジはしているがアイヌ料理ということで、なかなか平取町内でも日常的にアイヌ料理を食べることができる場所もないということで非常に面白いと思います。ぜひ取り組んでください。

委員：一通り見せていただいて、内容が濃くてすごくいいなと思っている。いまは小学生、中学生向きに色々やってもらっているが、いま平取ダムの管理棟のところのビジターセンターが出来て、そこで一般向けのプログラム、ガイドなどは考えていないのか。

対策室：来年4月以降、案として、例えば春でいくと、すずらん群生地のスズラン観賞会とあわせたかたちでやるというのが効果的ではないか、季節毎に試行錯誤しながらになるが冬は道産子の試乗体験とかもやっていきたいと考えています。

委員：そういうのを企画して、ダムカレーもそこで食べさせれば、なおいいのかなと思う。ぜひともせっかく展示物もすごくいいものが出来ている。開発局も一生懸命考えて一緒に作っていただいたので、そこも活用できるように進めていってほしい。

対策室：展示室では食事が出来ないなので、イベントは必ず食事も試食としてセットで考えていきたいと思っています。

委員：P64のカリンパニの固定している紐はどういうものか。木に食い込まないような工夫をしているのか教えてほしい。針金なんかの素材ではないということか。

対策室：木に食い込まない白縄を使っています。樹名板も定期的に付け替えていく予定です。

座長：その他ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

座長：ありがとうございました。本日いただいた意見を含めまして、引き続き調査・検討を進めていただきたいと思います。本日用意された議題は以上ですが、何か全体を通しての質

問があればどうぞ。よろしいでしょうか。

6. 閉会

事務局：〇〇座長ありがとうございました。本日のご意見を踏まえて、課題を踏まえながら、あわせてご相談させていただきながら、調査・検討を進めて参りたいと考えています。本日の資料は室蘭開発部のホームページに掲載する予定でございます。それでは、以上をもちまして第22回平取ダム地域文化保全対策検討会を閉会したいと思います。本日はありがとうございました。

以上